

平成29年2月27日

# 政務活動費成果届出書

届出者 久世孝宏

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・**資料購入**

○タイトル

政策提言能力の向上について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

多種多様なニーズに対応するためには、多くの市民の意見を聞きながら、政策立案・提言を行っていくことも必要になってくる。また、実際に市民による政策提言が有意義な場面もあるかもしれない。しかし、市民の期待と行政サイドのやりたいことが一致しない(ミスマッチ)ことも想定される。(政策提言ではないが、半田市の市民協働による事業でも見受けられる。)

そこで、自分自身の政策提言能力の向上のため、市民による政策提言の方法を学ぶことから、市民の意見の引き出し方や、特に、ミスマッチ解消には相互理解が必要だと考えるが、その解消方法やポイントを学びたい。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

本書により、以下の知見を得た。

○政策を考える人、決める人、実施する人 溝があるのは当たり前と考え、溝を埋めることは当然行う。

○ミスマッチ発生の理由を大きく把握すると以下の通り。

- ・ 目標設定すり合わせができていない：(行政側が) 実現を期待できるアイデアを求めるのか、気づきを得られるアイデアを求めるのか
- ・ 時間軸のズレ：今すぐの対応なのか、将来展望なのか
- ・ 空間軸のズレ：現場対応なのか、他の事例などを含めた一般論なのか

○上記のミスマッチ解消方法

一つの方法としてフューチャーデザインの考え方をを用いる

仮想将来世代を当事者とする＝将来世代の幸福を考える

つまり、現在の当事者としてだけでなく、未来の当事者として物事を捉える。

(非当事者として考える。)

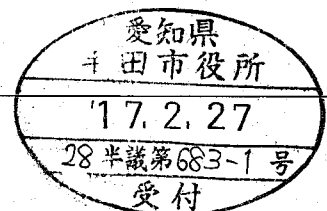
○市民側の心得

地域を知り、分析・評価ができる素養を身に着ける

○その他

市民と行政が、互いに発言の責任を持つ姿勢が大事になる

|     |    |       |
|-----|----|-------|
| 確認欄 | 議長 | 管理委員長 |
|     |    |       |



○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

市民からの政策提言、あるいは意見を受ける際には、立場の違いによるミスマッチが生じる。このことを、当たり前のことと捉え、ミスマッチ解消のための努力を行う。ミスマッチ解消の方法は、いくつもあると考えられるが、それらを勉強し、備えることが望ましい。その中で、フューチャーデザインの考え方は、将来世代のためにもなることから、活用すべきと考える。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

○フューチャーデザインの考え方の例

アメリカ合衆国 イロコイ・インディアン

・重要な意思決定には7世代後の人々になりきって考える。

例) 大きな山がある。現役世代は山を切り出し、街を作れば、富を得られる、と考える。ここで、将来世代の立場に立つと、山がなくなれば自然がなくなり、まちのアイデンティティもなくなるのではないかと考える。意見交換ののち、山を残す結論となった。

○議員・職員に求められる能力

多様な政策提言を分析し、需要の可能性を判断する能力

漏れた領域の把握をする能力

○実 績 (別紙に領収書を添付すること)

| 日にち | 時 間 | 内 容                      | 金額 (円) | 領収書<br>No. |
|-----|-----|--------------------------|--------|------------|
|     |     | 自治体政策への提言 学生<br>参加の意義と現実 | 2,160  | ①          |
|     |     | 合 計                      | 2,160  |            |

|             |    |       |
|-------------|----|-------|
| 確<br>認<br>欄 | 議長 | 管理委員長 |
|             |    |       |

平成29年2月27日

領収書等貼付用紙

議員名 久世 孝宏

タイトル

政策提言能力の向上について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

領収証

久世孝宏

様

NO. 0039 - 11-010600

2016年10月17日

担当者：榑原 悠輔

責任者：榑原 悠輔

¥2,160-

(税 ¥160) 但 上記正に領収致しました

内訳

現金等:

¥0-

クレジット:

¥2,160-

その他:

¥0-

株式会社 三洋堂書店

半田店

TEL 0569-26-3334

本社 名古屋市瑞穂区新開町18番22号

この紙は感熱紙を使用しております。保管にはご注意ください。

0159

